

# 大賞にハイダー・アッカーマン



ハイダー・アッカーマン

11月25日から28日までスイスのルツェルン市で開かれた「グランド・ファッションフェスティバル」で、大賞に当たるスイステキスタイル賞にハイダー・アッカーマン(33歳)が選ばれた。ノミネートされたのは、若手の中でもかなり実績のあるブランド。大賞には10万円(約140万円)の賞金が贈られた。(高橋牧子)

## 「暗闇の中、遠い一筋の光めざした」



ハイダー・アッカーマン

参加したのは、「ハイダー・アッカーマン」の世界を愛する人々が、フワフワ・ヨコササキ・フリー・キシモト「コスミックウイター」(ルツェルン、スイス出身のローラン・メルシエ、05年春夏コレクション)から絞り込んだ。アッカーマンは、人種や性別、年齢といった壁のない世界の快速を象徴した。ショーは繊細な光をめぐす感じを

## グランド・ファッションフェスティバル(スイス)

ジャパンリビューション2005でビッグスキンを使ったショー。ビーズペーパーが用いられた。プリントや加工で変化をつけたレザーに、シャリ感のある天然素材をミックスしたナチュラルなラインが並んだ。福田(四郎、ミラノ)で見せた「友イチロウ」



JC2005 ビッグスキンのコレクション

## 加工で変化つけ ナチュラルに

のビエラで軽やかなラインに、新たにレザーの下、レスやコートを加えた。ステンカラーコートやキヤサースカートに使ったビッグスキンは、洗った。長閑なと藤川慎太郎

は、05年春夏東京コレクションにデビューしたメンスの「モンキー」と共にレディスに「モンキー」も届けた。エキソチックなプリントをアクセントにしたリネースタイルだ。センターレスのパターンに合わせたベストは、コートやジャケット、プリントでアクセント

イメージした。アッカーマンは資金不足などの理由から、奮闘のハリウッドアクションを取りやめて、「いまは、何も考えられない」と涙をこぼしていた。賞金は次のコレクションに賞金に当てるとい

次点のソファ・ココサラキは、10月にパリで発表した若々しいフリーツドレスを発表した。受賞は逃したが、「服のデザインが求められる時代、自分のリアリティーを表現するのに、逆に大きな資金が必要になって皮肉です」と笑った。ルツェルンでは単位で身体が変わるという楽しい映像と共に、ドレスに変



わるとマフラー(な)トランスフォームの作品。賞金を賞、賞金1万円と、この特別賞という。通訳のデヴィン推挙に入れた。イーリー・キシモトは万華鏡を思わせる大胆な

対象は学生から若手、中堅まで 基金設立で相当額の賞金

切のをせしめて、柄を描いた。トレス、スエードの(中村龍、写真は加茂チコ)には足跡(ロユキ)